

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



関係者の出迎えを受けるハノイ線第1便の搭乗者

開港以来初めての東南アジアへ

■「静岡—ハノイ線(ベトジェットエア)」が新規就航

富士山静岡空港で、「静岡—ハノイ線(ベトジェットエア)」が4月28日から運航開始されました。ハノイはベトナムの首都であり、静岡と東南アジア・ベトナムを結ぶ定期便は開港以来初めてで、毎週火・木・日曜日の週3便が運航されます。第1便では乗客約100人が降り立ち、県職員などが横断幕を掲げ、記念品を手渡して歓迎。また、新規路線の就航を祝う記念式典では、鈴木康友県知事が「経済や文化などさまざまな面で関係が深化することに期待している」とあいさつしました。

一面に見事な薄紫色の花と甘い香り

■東光寺長藤まつり

東光寺長藤まつりが4月11日から25日まで開催され、会場には市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。市指定天然記念物である「東光寺のフジ」は、大正4年に磐田市の行興寺から譲り受けた「熊野の長藤」の一枝から始まり、現在樹齢100年を超えています。期間中は地元保存会によるおでんや長藤餅の販売や、「はいばら太鼓」の演奏などが実施されました。夜間は藤棚がライトアップされ、甘い香りとともに幻想的な雰囲気をつくり出しました。



長藤を見て楽しむ親子



現地で案内人の望月さんから説明を聞く参加者

足で感じる 廃城から550年の歴史

■勝間田城趾550年記念「現地見学会」

勝間田城趾550年記念「現地見学会」が4月5日、勝間田城趾で開催されました。これは牧之原御城印製作委員会が企画したイベントで、参加者は案内人である静岡古城研究会の望月保宏会長らから、廃城から550年経った勝間田城趾の歴史などを聞きながら散策しました。また、廃城から550年という節目で、「キラ☆キラ御城印」を販売。他にも、御城印収集家交流ブースやお茶やみかん、野菜、スイーツなどの城下楽市、演奏会も開催されました。

新たな旅の始まりへ

■「静岡—釜山線(エアプサン)」が新規就航

富士山静岡空港で、「静岡—釜山線(エアプサン)」が3月30日から運航開始され、就航第1便到着の出迎えや記念式典が行われました。釜山は韓国第二の規模の港湾都市で、静岡と釜山を結ぶ定期便は開港以来初めて。毎週月・水・金曜日の週3便で、10月まで運航を予定しています。第1便では乗客約220人が降り立ち、県職員や空港関係者などが横断幕を掲げ、記念品を配布して歓迎。また、県や航空会社の関係者などが新規路線の就航を祝う式典に出席しました。



新規就航を祝いテープカットを行う関係者

パラリンピアンが市に凱旋

■パラリンピアン坂下恵里選手が市長を表敬訪問

3月の「ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会」に出場した坂下恵里選手(勝間田区出身)が4月28日、大会の結果報告などで市役所榛原庁舎を訪れました。同選手は、同大会女子スノーボード競技の「スノーボードクロス」「スノーボードバンクドスラローム」に出場し、両種目で入賞。同選手は、「応援していただきありがたい。素晴らしい経験をさせてもらった。ぜひ2030年大会ではメダルを獲りたい」と次回大会の目標を話してくれました。



杉本市長から花束を受け取る坂下選手



年長児による開園を祝う歌の披露

地域とともに子ども1人1人を大切に

■相良あおぞら保育園開園式

相良保育園とあおぞら保育園の2園が統合し、令和8年度から新しく「相良あおぞら保育園」(矢島健太郎園長)として開園し、4月15日に開園式が行われました。式には同園の理事や杉本市長などが出席し、運営を行う社会福祉法人一羊会の増田隆理事長が、「子ども1人1人を大切に、地域と一緒に守り育てていく園であるように運営していく」とあいさつ。また、年長児22人が歌を披露し、声をそろえて「仲良く楽しく遊びたい」と元気良く話しました。

市民の生命・財産を守る使命を

■令和8年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月5日、静波体育館で開催され、観閲者である杉本市長などが出席しました。今年度から団長となった櫻井隆光団長は、「市民の生命・財産を守るという崇高な使命の責任の重さを深く受け止め、消防団のさらなる発展に努めていく」と話しました。今年度の新入団員は51人で、新入団員代表として大石誠人さんと松浦瑞希さんが櫻井団長から辞令書の交付を受けました。



櫻井団長から辞令を受ける新入団員代表の2人



原油の汲み上げを見守る来場者

琥珀色の原油から歴史を学ぶ

■油田の里公園 原油汲み上げ&桜まつり

「原油汲み上げと桜まつり」が4月5日、相良油田の里公園で開催されました。相良油田は、明治初期から昭和30年頃まで、良質な原油を産出し続けた太平洋側で唯一石油が採掘された油田です。桜まつりに併せて2年に1度、原油の汲み上げが行われ、今回は資料館のリニューアルオープンも実施しました。満開の桜の下、汲み上げた原油でのバイク走行なども行われ、原油価格の高騰なども影響し、市内外から多くの人を訪れました。